



FLY FISHERS INTERNATIONAL

ツーハンドキャストイングインストラクター・パフォーマンステスト

FFF ツーハンドキャストイングインストラクターのパフォーマンステストは、流水もしくは止水上で行われます。

左岸又は右岸として示されたタスクは、それぞれその岸に立っているものとして実行されます。

キャストは左右両方のサイドから行われます：オフショルダーを代用とすることができます。

特に左右どちら側からのキャストか記されていない場合は、どちら側からキャストするかは、バンクやロッドハンドによってキャストが選択することができます。

ロッドの長さは 15 フィート (4.57 m)、サイズは#10 (#9/10) 以下、フローティングラインのウェイトは、AFFTA 規格の#10 {ショートベリーラインで 55 フィート (16.8m) 680gr (44g) ;ミディアムベリーラインで 65 フィート (19.8メートル) 720gr (46.7g) ;ロングベリーラインで 75 フィート (22.9 m) 860gr (55.7 g) }以下とします。

受験者は、70 フィート、80 フィート、100 フィート (21.3 m、24.4 m、30.5 m) のフローティングライン・タスクのすべてを 1 本のロッドを使用して実行する必要があります。

注：シンクティップのタスクとアンダーハンドキャストの説明とデモンストレーション・タスクは別々のロッドを使用することができます。

ラインは以下の事が求められます。

-キャストが選択するフローティングラインは 80 フィート (24.4m) で求められる要求を達成できるものであること。

- サンクラインのタスクでは、受験者はフルシンクのタイプ (クラス) 2 ラインか、長さ最低 15 フィート (4.57m) で重量 150gr (9.7g) 以上、タイプ (クラス) 6 以上のシンクティップラインを使用するかを選択することができます

- オプション:アンダーハンドキャストの説明とデモンストレーションタスクにはスキャンジナビアン・シューティングヘッドシステムを使用することができます。

フローティングラインのリーダーは長さ 10 フィート (3.05m) 以上、15 フィート (4.57m) 以下。シンクティップにはリーダーの制限はありません。

受験者はすべてのキャストを簡単に、かつ熟達した招待で実行しなければなりません。キャストは良く形成された D ループ（もしくは V ループ）と真っ直ぐなアンカープレースメント、そして良く形成され完全に展開するナローなフォワードループを伴って、スムーズに行われることが期待されます。リーダーは特に支持がない限り、真っ直ぐ着水させます。

ナローループはループの先端から約 6~10 フィート（1.83~3.05m）の位置のトップとボトムレグの間隔が 3 フィート（0.91m）以下と定義します。

口頭での説明は明確かつ簡潔であり、必要に応じて簡潔なインストラクションや情報を提供すること。

受験者は各パフォーマンスタスクに対して最大 3 回の試行をすることができます。もし受験者がパフォーマンステスト中、6 個以上のタスクに失敗した場合、または求められたキャストの中で 2 個以上失敗した場合、テストは失敗となります。

極端な状況や悪影響に対応するために、THCI の試験官はパフォーマンスの基準を 10% 下げることがあります。

まず試験開始前に 80 フィート（24.4m）の距離のラインをキャストします。

この距離はキャストの足からフライの場所で測定されます。

80 フィートに届くようにラインをシュートしてはいけません。

受験者は 5 回以下のキャストでこれを達成することが期待されます。もしこの要件に達しない場合、そこで打ち切れテストは終了します。

80 フィートの“予選”を無事通過したら、その距離のホールディングマークが承認されます。

受験者はテストの前に参照のための確実な 80 フィートの予選通過距離に良く見えるホールディングマークを付けておくことが推奨されます。

ラインの長さが適格であることを保証するため、ヘッドの長さ（ロッド先端からリーダーまでの作業ライン）を 60 フィート（18.3 m）以上にすることを提案します。

距離、重量等参照：70 フィート=21.3 メートル、80 フィート=24.4 メートル、100 フィート=30.5 メートル

ft = フィート; m = メートル; gr = グレイン; g = グラム;

受験者のロッドの長さ：_____、ロッド重量：_____、ラインサイズ：_____、リーダーの長さ：_____。

オーバーヘッドキャスト（水上で行われなければいけません）

オーバーヘッドキャストへの期待：前後のサイズが同じ平行な狭いループ。良いタイミング。要求されない限りテーリングループでないこと。ティッキングやフライが水面を叩かないこと。最初のバックキャストから良いサイズと形のループであること。ワイドループは6フィート(183 cm)より広い幅であること。デモンストレーションは説明と一位していること。

___ 1. 70フィートで3~4回、前後ともナローなループのフォルスキャストの実演をする。右手が上手かオフショルダーで行います。

___ 2. 70フィートで3~4回、前後ともナローなループのフォルスキャストの実演をする。左手上手、もしくはオフショルダーでこれを行います。

___ 3. ループサイズについての説明と実演をします。70フィートでワイドループに続いて狭いループのフォルスキャストを3~4回行います。

___ 4. 合図をしてテーリングループの実演をする。テーリングループを形成する方法は複数説明する。

___ 5. フォルスキャストをしないで、70フィートで30度以上のオーバーヘッドの方向転換キャストを実演する。

___ 6. 1回以上のフォルスキャストをし、オーバーヘッドキャストで100フィートのラインシュートを実演する。

ロールキャスト (左バンクまたは右バンクから実行することができます)

デッドラインロールキャストへの期待：ラインとリーダーが完全に真っ直ぐ伸びきり、水の上でロールアウトするナローループ。オープンループ、ノンループでないこと。Dループはゆっくり定位置まで引きずられ、完全に停止する必要があります。スイッチキャストのようにダイナミックに投げられたDループで行わないこと。

___ 1. 70フィートのデッドラインロールキャストを実演する。右手上手、もしくはオフショルダー。

___ 2. 70フィートのデッドラインロールキャストを実演する。左手上手、もしくはオフショルダー。

スイッチキャスト (左または右バンクから実行することができます)

スイッチキャストへの期待：ラインとリーダーが完全に伸びきり、水面上でロールアウトするナローループ。キャストは良いタイミングとスムーズで正しく配置されたアンカーで行われること。テーリング、オープンあるいはノンループでないこと。実演は説明と一致していること。

___ 1. 80フィートでシュートをせずDループのスイッチキャストを説明し、実演する。

右手上手、もしくはオフショルダー。

___2. 80 フィートでシュートをせず V ループのスイッチキャストを説明し、実演する。

右手上手、もしくはオフショルダー。

___3. 80 フィートでシュートをせず D ループのスイッチキャストを説明し、実演する。

左手上手、もしくはオフショルダー。

___4. 80 フィートでシュートをせず V ループのスイッチキャストを説明し、実演する。

左手上手、もしくはオフショルダー。

___5. パイルドアンカーを伴ったスラック・アンカーポイントについて説明と実演をする。

___6. ラインの長さでキャストイングストロークの長さの関係の説明と実演。

シングルスペイ

シングルスペイキャストへの期待：ラインとリーダーが完全に真っ直ぐになるように水面上でロールアウトするナローループ。キャストは良いタイミングでスムーズに行われること。アンカーポイントはフォワードキャストの方向と一致していること。キャストの後方でアンカリングされないこと。テーリング、オープンあるいはノンループでないこと。実演は説明と一致していること。指定された側の岸から行われること。

___1. 左岸からの 45° の角度変換を伴った 80 フィートのシングルスペイをシュートしないで実演する。右手上手もしくはオフショルダー。

___2. 左岸からの 45° の角度変換を伴った 100 フィートのシングルスペイをシュートして実演する。右手上手もしくはオフショルダー。

___3. 右岸からの 45° の角度変換を伴った 80 フィートのシングルスペイをシュートしないで実演する。左手上手もしくはオフショルダー。

___4. 右岸からの 45° の角度変換を伴った 100 フィートのシングルスペイをシュートして実演する。左手上手もしくはオフショルダー。

___5. 90° 以上の角度変換を伴った、80 フィートのシングルスペイをシュートしないで実演。

___6. フォワードキャストで下流側へのアンカリングが間違っていることを説明し、実証する。

___7. 予定したフォワードキャストの方向に対して上流すぎるアンカーポイントについて説明し、実証する。

___8. ブラッディ L の不適切なアンカーポイントについて説明し、実証する。

ダブルスペイ

ダブルスペイキャストへの期待：ラインとリーダーが完全に真っ直ぐになるように水面上

でロールアウトするナローループ。キャストは良いタイミングでスムーズに行われること。アンカーポイントはフォワードキャストの方向と一致していること。キャストの後方でアンカリングされないこと。テーリング、オープンあるいはノンループでないこと。実演は説明と一致していること。指定された側の岸から行われること。

___1. 左岸からの 90° の角度変換を伴った 80 フィートのダブルスペイをシュートしないで実演する。左手上手もしくはオフショルダー。

___2. 左岸からの 90° の角度変換を伴った 100 フィートのダブルスペイをシュートして実演する。左手上手もしくはオフショルダー。

___3. 右岸からの 90° の角度変換を伴った 80 フィートのダブルスペイをシュートしないで実演する。右手上手もしくはオフショルダー。

___4. 右岸からの 90° の角度変換を伴った 100 フィートのダブルスペイをシュートして実演する。右手上手もしくはオフショルダー。

___5. 80 フィートで 45° 以下の角度変換を伴ったダブルスペイを、ラインをシュートしないで実演する。

___6. リフトが完了した時のアンカーポイントが配置される場所についての説明と実演。

___7. ブラッディ L の間違っただアンカーポイントについて説明し実証する。

___8. 最小限のバックスペース (6 フィートあるいは 1.8m) でのキャストイングを説明し実演する。

スネークロール

スネークロールキャストへの期待: シングルスペイキャストへの期待: ラインとリーダーが完全に真っ直ぐになるように水面上でロールアウトするナローループ。キャストは良いタイミングでスムーズに行われること。アンカーポイントはフォワードキャストの方向と一致していること。キャストの後方でアンカリングされないこと。テーリング、オープンあるいはノンループでないこと。実演は説明と一致していること。指定された側の岸から行われること。

___1. 左岸からの 90° の角度変換を伴った 80 フィートのスネークロールをシュートしないで実演する。左手上手もしくはオフショルダー。

___2. 左岸からの 90° の角度変換を伴った 100 フィートのスネークロールをシュートして実演する。左手上手もしくはオフショルダー。

___3. 右岸からの 90° の角度変換を伴った 80 フィートのスネークロールをシュートしないで実演する。右手上手もしくはオフショルダー。

___4. 右岸からの 90° の角度変換を伴った 100 フィートのスネークロールをシュートして実演する。右手上手もしくはオフショルダー。

___5. 80 フィートで 45° 以下の角度変換を伴ったスネークロールをシュートしないで実演する。

___6. 不完全なタイミングのフォワードキャストについて説明し、実演する。; 早すぎるタイミング、遅すぎるタイミング

___7. キャストのフォーメーション中に描く”e”もしくは楕円の正しくないアラインメントのために起きるカーブドアンカーの配置について説明し、実演する。

スナップ T (受験者はスナップ T を行った後で、スナップ C を選択することもできます。)

スナップ T への期待：シングルスペイキャストへの期待：ラインとリーダーが完全に真っ直ぐになるように水面上でロールアウトするナローループ。キャストは良いタイミングでスムーズに行われること。アンカーポイントはフォワードキャストの方向と一致していること。キャストの後方でアンカリングされないこと。ブラッディ L になっていないこと。テーリング、オープンあるいはノンループでないこと。実演は説明と一致していること。指定された側の岸から行われること。

___1. 左岸からの 90° の角度変換を伴った 80 フィートのキャストをシュートしないで実演する。右手上手もしくはオフショルダー。

___2. 左岸からの 90° の角度変換を伴った 100 フィートのキャストをシュートして実演する。右手上手もしくはオフショルダー。

___3. 右岸からの 90° の角度変換を伴った 80 フィートのキャストをシュートしないで実演する。左手上手もしくはオフショルダー。

___4. 右岸からの 90° の角度変換を伴った 100 フィートのキャストをシュートして実演する。左手上手もしくはオフショルダー。

___5. 45° 以下の角度変換を伴った、80 フィートのキャストをシュートしないで実演。

アンダーハンドキャスト (ボトムハンドの使用を強調した、スカンジナビアのテクニック)

アンダーハンドキャストへの期待：ラインとリーダーが完全に真っ直ぐになるように水面上でロールアウトするナローループ。キャストは良いタイミングと正しく配置されたアンカーでスムーズに行われること。テーリング、オープンあるいはノンループでないこと。実演は説明と一致していること。

注：このタスクに使用するラインの長さはデモンストレーションを容易にするために短くしたり、受験者がスカンジナビアンテクニック用に特別に用意した別のロッドを使用したりすることができます。

___1. 45° の角度変換を伴ったアンダーハンドキャストを説明し、実演する。キャストにおけるロッド、ライン、リーダーの選択とその役割について説明します。

ラインマネージメント

- ___1. ラインのシューティングについて説明し、実演します。ラインをリリースするのはいつが適切ですか？
- ___2. 上流、下流へメンドするラインコントロールについて説明し、実演します。

沈んだライン

受験者はフルシンクのタイプ（クラス）2 もしくは長さ 15 フィート（4.57m）以上で重さ 150 グレイン（9.7g）以上、タイプ（クラス）6 以上のシンクティップを使用しなければなりません。

注：受験者はサンクラインタスク用の別のロッドセットを使用することができます。

- ___1. キャストを成功させるために、沈んでいるラインを水面に上げるのに必要とされることを説明し、実演します。
- ___2. シンキングラインもしくはシンクティップラインを使用したシングルスペイを、シュートしながら 80 フィート投げます。
- ___3. シンキングラインもしくはシンクティップラインを使用したダブルスペイを、シュートしながら 80 フィート投げます。

ティーチングスキル／間違いの訂正／その他のツーハンドキャストの知識

期待：受験者は以下の事について堪能でなければなりません。

- さまざまなシナリオにおける、明確で組織的な方法での生徒への教授または指導。
- キャストの間違いの容易な特定と適切な修正。
- さまざまなキャストスタイルやキャストの力学、タックルやラインシステムについて知識があること。